

北海道芦別高等学校



1. 本校の沿革・概要

- 昭和 16 年 3 月 北海道芦別実科高等女学校設置が決定される
- 昭和 18 年 4 月 北海道芦別高等女学校と名称変更
- 昭和 23 年 4 月 北海道芦別高等学校と名称を変更
- 昭和 26 年 4 月 機械科が併置される
- 昭和 39 年 4 月 機械科廃止，定時制普通科が併置される
- 昭和 55 年 3 月 定時制普通科廃止
- 平成 16 年 4 月 北海道芦別総合技術高等学校と統合，情報ビジネス科が併置される

本校は今年度創立 68 年目を迎え，卒業生は 1 万 5 千人余を数える伝統校である。昭和 54 年度に定時制普通科が廃止された際は，全日制普通科 6 クラスであったが，芦別市の人口減少とともにクラス数も減少していき，平成 15 年度には全日制普通科 4 クラスとなっていた。平成 16 年度の北海道芦別総合技術高等学校との統合により，普通科 4 クラス・情報ビジネス科 1 クラスの普通科・商業科併置校として生まれ変わり，現在に至っている。

2. 本校の校訓

「鍛え 励み 進め」

校訓は，校歌の歌詞の一部から考えられたもので，「心身を鍛え，勉学と部活動に励み，社会に貢献できる人として進め」という願いが込められている。

3. 本校の学校教育目標

未来に生きる知性を	創造する生徒
世界に生きる徳性を	涵養する生徒
風雪に生きる心身を	錬成する生徒

4. 本校の特色

本校は，「質実剛健」「文武両道」の校風のもと，流行を追うことはせず，高校生として大切な学力養成・人間性育成に力を入れ，青春を力一杯過ごしてもらうために全力をあげている学校である。生徒は日々の学習をはじめ，部活動・学校行事・生徒会活動などすべてにおいて全力で取り組んでいる。

芦別市・赤平市出身の生徒で，全校生徒の約 98% を占めており，この両市を中心に，幅広い進路希望・学力層の生徒が入学している。卒業生の進路も，国公立大学・私立大学・短期大学・高等看護学校・専修学校・公務員・一般企業就職と，多岐にわたっている。

本校の特色は次のとおりである。

(1) 多様な進路希望に対応した教育課程

普通科・商業科併置校としてのメリットを最大限生かすために，普通科の生徒が商業の基礎的な科目を学んだり，情報ビジネス科の生徒が普通科目を深く学んだりすることができるように，選択科目の相互乗り入れを取り入れた幅広い選択授業（総合選択授業・群選択授業）を導入している。また，数学・英語については，1 年次に習熟度別授業，2・3 年次に進路別授業を実施している。



2年：総合選択授業【2単位】

普通科・情報ビジネス科共通

3年：群選択授業

I群【3単位】	普通科・情報 ビジネス科 共通選択
II群【3単位】	
III群【3単位】	
IV群【3単位】	普通科のみ 選択
V群【4単位】	

(2) ミックスホームルームの実施

本校では、平成16年度より、普通科・情報ビジネス科の区別なく、「同じ芦別高校生」として統一した指導を行うため、ミックスホームルーム（普通科・情報ビジネス科の生徒をミックスしたホームルーム編成）を導入した。これにより、「学科の違いによる心理的な垣根がなくなる」、「学級の男女比のアンバランスを解消できる」など、行事の運営に大きく役立っている。その影響もあり、統合前からの本校の4大伝統行事（7月の学校祭・8月の球技大会・10月のマラソン大会・2月の冬季スポーツ大会）には、統合後も生徒は全力で取り組み、大きな盛り上がりを見せる。



(3) 部活動全員加入制の実施

本校では、授業と同様に、部活動も教育活動の1つの柱として位置づけており、部活動全員加入制を実施している。現在、体育系・文化系あわせて24の部・局が活動しており、単に技能を向上させたり試合に勝利することにこだわるのではなく、集団における自己のあり方・目標に向かって努力する姿勢など人間性の育成の場として大きく貢献している。また、全生徒の4分の1程度は毎年全道大会への出場を果たしており、全国大会にも毎年出場している。



(4) 地域との交流の重視

地域と密着した教育活動を目指し、芦別市の最大行事である「健夏まつり」の参加や、各種ボランティアの実施など、地域との交流を図っている。また、ホームページや学校だよりで情報を発信しており、保護者や地域の方々にも学校の情報を伝えている。昨年度からは、夏季休業中に中学3年生を対象とした「オープンセミナー」を本校主催で初めて実施し、数学・英語の基礎学力向上に向けて、中学校との連携を試みている。



5. 本校の数学教育

本校では、幅広い進路希望・学力層の生徒が入学していることから、数学では、1年次で習熟度別授業を、2年次で進路別授業を、3年次で群選択授業を行っている。

(1) 1年次（習熟度別授業）

{	普通科	：数学Ⅰ【3単位】
		数学A【2単位】
	情報ビジネス科	：数学Ⅰ【3単位】

1年次においては、生徒の学力に応じて、習熟度別授業を行っている。数学Ⅰについては、普通科・情報ビジネス科の単位数が同じことから、1年生の生徒全員を4つのコース・6つのクラスに分け、6名の数学科教員が一斉展開で授業を実施している。

数学Aは普通科のみであるが、同じクラス分けで授業を実施している(情報ビジネス科の生徒は、数学Aの時間は商業科目の授業を実施している)。

Sコース（特進コース：1クラス）

教科書レベルを超え、大学入試レベルの問題が解けることを目標とした内容

Aコース（応用コース：1クラス）

教科書レベルを超え、応用問題が解けることを目標とした内容

Bコース（普通コース：2クラス）

教科書レベルの内容を習熟する内容

Cコース（基礎コース：2クラス）

教科書の重要事項を習熟する内容

(2) 2年次（進路別授業）

{	普通科	：数学Ⅱ【3単位】
		数学B【2単位】
	情報ビジネス科	：数学Ⅱ【3単位】

2年次においては、生徒の進路希望に応じて、進路別授業を行っている。数学Ⅱについては、普通科・情報ビジネス科の単位数が同じことから、2年生の生徒全員を3つのコース・7つのクラスに分け、授業を実施している。1年次の数学Ⅰで

は、すべてのコースで同じ教科書を使用しているが、2年次ではコースごとにそのレベルに合った教科書を使用している。また、数学Bは普通科のみであるが、同じクラス分けで授業を実施している。

Aコース（国公立コース：1クラス）

教科書レベルを超え、センター試験をはじめとした大学入試レベルの問題が解けることを目標とした内容

Bコース（進学コース：3クラス）

教科書レベルの内容を習熟し、大学・短期大学・高等看護学校・専門学校進学を目標とした内容

Cコース（就職コース：3クラス）

教科書の重要事項を習熟し、就職・専門学校進学を目標とした内容

(3) 3年次（群選択授業）

3年次においては、数学の必修科目を教育課程上に設置せず、自らの進路希望において必要となる科目を、群選択授業から選択するという形式で実施している。

I群：数学Ⅱ【3単位】

就職・専門学校進学希望者を対象
数学C【3単位】

理系大学進学希望者を対象

II群：数学B【3単位】

センター試験受験を必要とする
大学への進学希望者を対象

III群：数学Ⅱ【3単位】

就職・専門学校進学希望者を対象

V群：数学Ⅲ【4単位】

理系大学進学希望者を対象

数学B【4単位】

高等看護学校進学希望者を対象

数学Ⅱ【4単位】

公務員・就職・専門学校進学希望者を対象

(文責 北海道芦別高等学校教諭 坂田剛一)